

性同一性障害における妊孕性温存のために受診中あるいは受診経験のある 患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センターリプロダクションセンターでは、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

性同一性障害(GID)当事者の妊孕性温存の実態調査

【研究の背景と目的】

あなたは医療機関にて性同一性障害と診断され、性適合手術を受ける前に精子の凍結保存（妊孕性温存）を目的として当院へ来院されました。

現在、ご自身の身体的性別と性自認が異なることによる身体的違和感や社会的な役割に対して著しい葛藤や苦痛を持っておいでの方には、何らかの医療的介入が必要であるとされ、支援活動が徐々に本格化されてきております。しかし、戸籍上の性別の変更のためには性別適合手術を行うことが法律上必須であり、当事者の方の生物学的子孫を残すことを放棄することを余儀なくされているのが現状です。このことは当事者である方達の挙児希望や将来への可能性を閉ざすこととなります。現在では、生殖補助医療と凍結保存技術の進歩により、性別の変更と妊孕性を両立することが可能となりつつありますが、実際には情報の少なさのために当事者である方や医療機関がそこへ到達できていないのが現状です。

当院では2015年から精子凍結保存を実施しており、現在までに8名の方の妊孕性温存を行っております。今回の研究の目的は当院における妊孕性温存についてカルテを使用して調査し、その当事者の方が妊孕性温存に至った経過や検査結果等をまとめて学術論文や学会で発表することです。このことにより、現在のガイドラインの改訂や性同一性障害の方の妊孕性温存の現状について理解を深めることができるのではと考えております。

【対象となる方】

2015年1月～2023年12月までにリプロダクションセンターにて性別適合手術前に精子凍結保存を行った性同一性障害の方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

初診日、診断日、年齢、既往歴、合併症、性機能、性的指向、ホルモン治療の有無と薬剤名、性別適合手術希望の有無、内服薬の有無と薬剤名、パートナーの有無

身体所見 tanner 分類、精巣上体の有無、精巣体積、精索静脈瘤の有無、精索静脈のグレード
血液検査 ホルモン値 (LH、FSH、TT、PRL、E2)、感染症 (β型肝炎、c型肝炎、梅毒、HIV)
精液検査 精液量、精子濃度、運動率、正常形態率、精子 DNA 断片化率
精子凍結保存後の治療 ホルモン治療の有無、性別適合手術の有無
なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日 (2024年1月26日) から2026年3月31日まで実施され、8名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。
また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本泌尿器科学会及び日本生殖医学会で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。また、論文化し専門誌 Reproductive Medicine and Biology へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター リプロダクションセンター 講師 岩端 威之

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科 担当者：杉江 美穂 (助教)
埼玉県越谷市南越谷2-1-50 電話番号：048-965-4944 (泌尿器科外来直通)
受付時間：月～金 午前9時～午後5時

以上